

託児費用サポート基金 利用後アンケート

集計結果レポート



NPO 法人ホッピング

託児費用サポート基金に関するアンケート調査結果報告書

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

下記内容については、2022年1月7日に和歌山市子育て支援課にも提出しています。

● 目的

新型コロナウイルス感染拡大防止のため生活も一変。今まで当たり前できていた事にも制限がかかり、子連れで行けた妊婦健診や病院、入園式・参観・運動会・卒園式などの行事に、子ども(きょうだい)を連れて行けなくなる機会が増えました。

そこで、当団体では託児を利用せざるを得なくなった保護者に対し、託児費用の全額、または一部を補助するサービス「託児費用サポート基金」を2021年3月から9月までの期間実施し、ご利用いただいた方からのアンケートの集計結果をまとめました。

● 調査期間

2021年3月4日～2021年10月9日

● 調査対象

和歌山市在住の未就学児を持つ保護者20～40代、当託児サポート基金申込者 84人

● 調査方法

インターネットによるアンケート

● 回答状況

有効回答数 54件

有効回答率 64%

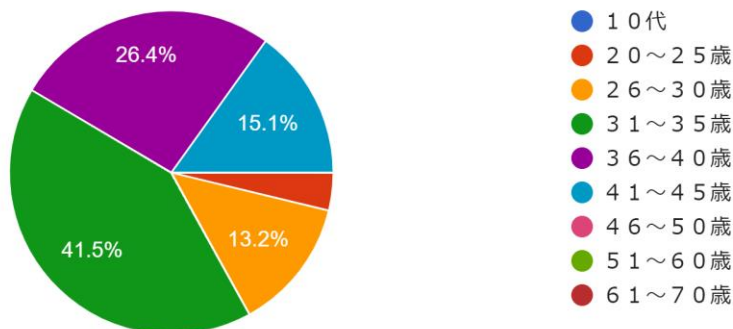
● 調査結果について

今回のアンケート結果では、申込者の54.7%が託児を利用するのが初めての保護者でした。託児理由としてもっとも多かったのが、「その他介護や、家庭の用事等」40.5%です。続いて「その他」19%、「保護者ご自身の通院のため」17.9%、「産科での妊婦健診が付き添い不可のため」7.1%… コロナ禍以前に比べ、子供を連れては行けない、必要に迫られる託児の需要が高まったと考えます。

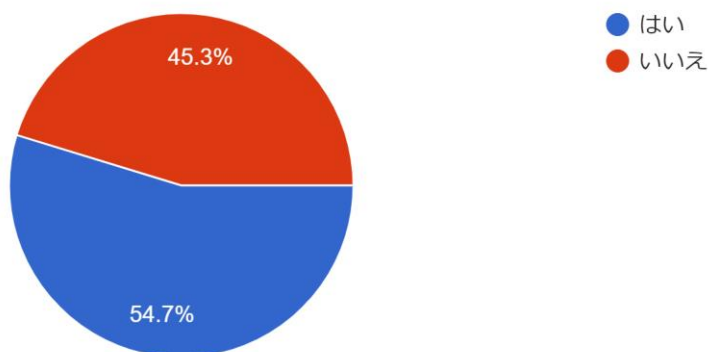
「このようなサポート基金があればまた利用したいと思いますか」の問いには、100%の方が「はい」と回答しています。

託児サポート基金 利用者アンケート

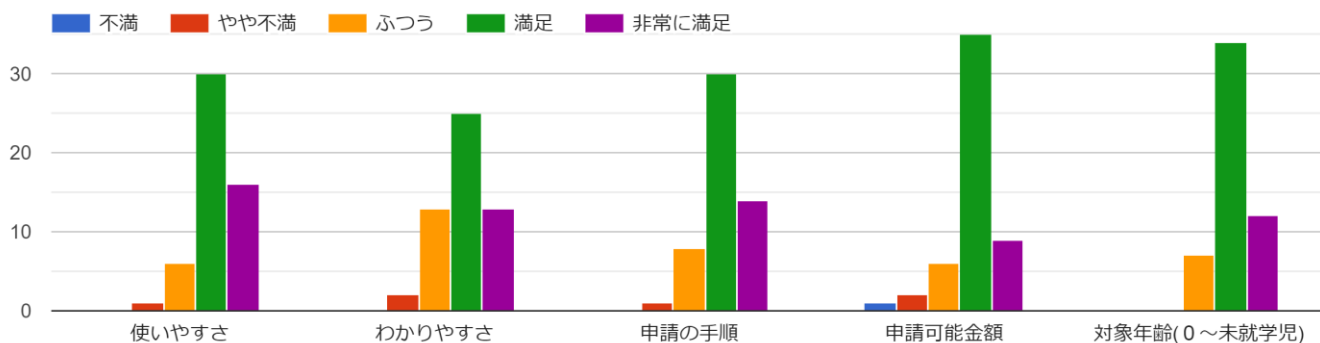
ご利用者の年齢をおしえてください。



託児を利用するのは今回がはじめてですか？

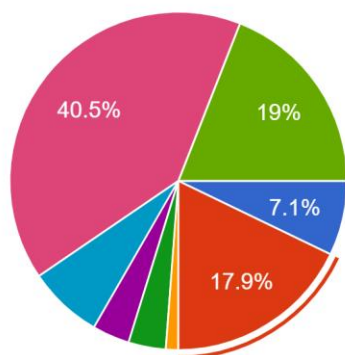


基金について



託児サポート基金 利用者アンケート

託児理由



- 産科での妊婦健診が付き添い不可のため、子どもを預けたい
- 保護者ご自身の通院のため、子どもを預けたい
- 入園・入学説明会があるので、子ども...
- 卒業式・卒園式があるので式に参加で...
- 入園式・入学式があるので式に参加で...
- 就職活動・面接等のため
- その他介護や、家庭の用事等
- その他

その他を選んだ方の詳しい託児理由

<通院>

- ・ 上の子のクリニック受診の為
- ・ 新型コロナのワクチン接種に付き添い不可のため、子供を預けたい
- ・ カウンセリング
- ・ 兄弟付添不可のため下の子の予防接種、4ヶ月健診のため。
- ・ 妹の検診のため

<体調不良のサポート>

- ・ 障害により体調不良の日が多く、サポートが必要なため。
- ・ ワクチン摂取2回目、2日目で体調不良になることが考えられるため。
- ・ 出産時の上の子の預け先がない為
- ・ 孤独感が二人いるのでなかなか家事がゆっくり出来ないため

<学業・講習>

- ・ 仕事をするにあたっての勉強のため
- ・ 普通免許習得の為、教習所に行きます。
- ・ 違反者講習

<リフレッシュ>

- ・ かるがもホールで開催される教室（ママのボディーリメイク）に参加のため
- ・ 美容外科に行くのとリフレッシュの為。
- ・ 美容室に行く

<その他>

- ・ 上の子どもの参観に連れていけない
- ・ 上の子の運動会の為
- ・ 携帯が壊れそうなので、仕事が休みの日に機種変更に行きたいです。
- ・ 母が仕事で父が休みですが、父が実家に行く用事があるため。
- ・ 引っ越し作業のため
- ・ 確定申告のため税務署に行きます。
- ・ 入園準備等
- ・ コロナで両親に頼らないため
- ・ 家の改修工事のため

託児サポート基金 利用後の感想

<通院>

- 妊娠健診時に子供を連れて参院に入る事が出来ず、毎回一時保育を利用しており、金額も安くはないので今回このようなサポートをしていただき、大変助かりました。ありがとうございました。

<体調不良のサポート>

- 今回コロナワクチン接種による一時保育の為に利用させていただきました。

<保育>

- 4歳とはいえ障害があり預け先に、いつもの所が、利用でき助かりました。
- コロナの影響で1日保育も受け入れてくれない保育園が多くて、こういう基金があれば時間制の一時保育も利用しやすくて助かります。

<家庭の用事>

- 他県から引っ越してきたばかりで全く片付かない家の中の整理で困り果てていた時にこの制度を聞いて非常に有り難く使わせていただきました。1日子供がいないだけでこんなに遣りたかったことが片付くのかと心底助かりましたありがとうございました。

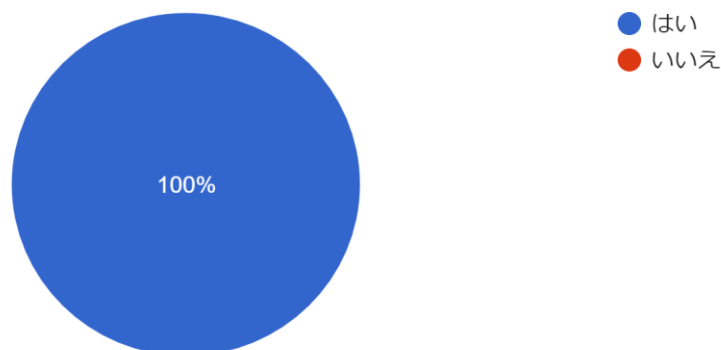
<リフレッシュ>

- 一時保育を使用したいとずっと思っていました。専業主婦の私には少し贅沢かと思いきやなかなか預けようと機会がありませんでしたが託児費用を負担していただけてとても嬉しかったです。リフレッシュできたので良かったです。ありがとうございました。
- 今回リフレッシュで託児をお願いしました。数時間子供を預けて自分の時間を確保したくてもお金が発生するので普段は気軽に利用はしづらいますが、こういう基金があってとても嬉しかったです。おかげで今回今までで最長時間預けて思いっきりリフレッシュできました。

<その他>

- 申請しすぐ振り込まれるのも嬉しい、いちいち気にしなくて良いので有り難いです。
- 電話や申請書の提出など面倒な手続きがなく、QRコードから手続き出来たり、やり取りが全てLINE上で行われるのでとても便利でした。

このようなサポート基金があればまた利用したい、と思いますか？



子育て世帯むけに必要なと感じているサービス

<託児・一時預かり>

- 託児付きの施設が増えて欲しいです。認可保育園での一時預かりやファミサポは預けるまでの書類や必要物品の準備が大変なイメージがあって中々リフレッシュや通院でも使えずにいたが、就活するにあたり必要になり無認可の託児所を利用したら、思っていたより準備物も少なく手続きも楽だったので、「こんなものもあるよ、リフレッシュ目的でも良いので気軽に利用してね」と、もっと周知があればいいのに…と思いました。
- 海南市のノビノスの託児所のように、少しの時間でも子供を預けられ、一人の時間を持てる施設ができるとより良いと思う。（普通の一時保育を利用するより気持ち的にも経済的にも利用しやすい。）
- 託児付き病院や美容院、短時間低価格のショッピングセンターなどで1人10分100-200円とか低価格で見てもらえる託児サービス。
- 託児チケットや託児出張サービス。
- 一時保育というものの自体、ママにとってハードルが高いように感じます。預入先を調べること、用意するもの、そもそも預ける必要性、子供への影響など、物理的精神的に一步踏み出すことに躊躇があります。もっとママたちに1人で子育てしなくていい。しんどい時は他の人を頼ればいいという気持ちを実践させてほしいと思います。なので、例えば、託児付きのママ向けの講座など、まず『子どもを預ける』ことに慣れる機会が増えてほしいです。子どもを預ける大義名分があると、ママの罪悪感を軽減されますし、いつも通りの荷物で預かってもらえれば準備の負担も減るので、まずは短時間で気軽に託児できる場所があるといいと思います。
- ファミサポ一本化している和歌山市。「前例がない」で、他府県で成功しているものを取り入れない。アズママのシステムも海南市や岩出市はしているのに、和歌山市では浸透しなかった。

<サービス>

- 予約が取りやすいシステムで気軽に利用できる家事育児代行サービス。
- ホームスタートのようなサービスを和歌山でも提供して欲しい。
- 無理だと思うのですが、日中でも良いので、子供が遊んで母親が休めるようなサービス。
- 鳥取発の夜泣き保険、すやりんこ、あったら絶対申し込んで使ってみました。
- オモチャのフリマや、2人乗り・3人乗りなどの自転車など購入するのは高いので不要になったのをゆづってもらえるサービスがあったらいいなと思いました。
- 家に来て子供の遊び相手をしてもらえるリーズナブルなベビーシッターサービス。

<子どもの遊び場>

- 公園。大阪から引っ越してきたが、余ってる土地が多いのに公園の少なさに驚いた。徒歩圏内に公園が無く、また、道がガタガタのため、ベビーカー移動は子供が心配になるほど揺れる。
- 子どもが複数人いるため、上の子も一緒に行ける支援センターのような場所があると助かる。
- 歩いていけるような身近な場所に子育て支援センターのような場所が欲しいです。外に行くと親ももリフレッシュできるので、気軽に行ける子育てひろばや支援センターなどをもっと増やして欲しいです。

<親へのサポート>

- 1人で2人以上の子どもを連れて出かけるのがとても大変なので、環境のサポートが欲しい。
- 病児保育の施設が増えたらありがたいです
- 子どもと一緒に遊んでくれたり、お世話を助けてくれる大人がもっといれば助かります

<オンライン>

- 市でも補助事業が実施されているが、子供を連れて市役所まで足を運ぶのが大変なため、このようなLINE上のやり取りのみのサービスが普及されると助かる。
- 動画配信サービス（子供やお母さんたちが集まる 地域支援センターやNPO法人などのリアルの様子がインターネットからアクセスできて様子が見れたり、繋がった人と会話ができる）

<その他>

- 子ども食堂がもっと普及してほしいです。
- 家族で参加型の子育てイベント

広報・取材レポート

2021年3月2日 朝日新聞掲載

2021年3月6日号 リビング和歌山掲載

未就学児の託児費用支援

和歌山のNPO最大5千円



新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で、子どもを預けなくてはならなくなった親を支援しようと、NPO法人「ホッピング」が1日から、和歌山市で「和歌山市が1日から、託児費用をサポートする取り組みを始めた。和歌山市に住む未就学児がいる保護者が対象で、1世帯1回、上限5千円まで支援する。

ホッピングによると、感染予防対策として、訪問幼稚園、保育園など、訪問者数を制限する施設がある。また、これまでに実家が両親らに頼っていた家庭が、感染予防のために頼れなくなったケースも多いという。「卒園式があるだけ、式に参加できない状況だ。いを預けたい。妊婦検診で子どもの付き添いができないので、子どもを預けたら」といった保護者からの声をもとに企画した。

取り組みは、明治安田生命保険からの寄付をもとにした基金で運営。補助の対象になる施設は和歌山市にある一時預かりを実施している民間保育施設など。保護者自身の普段の仕事のための託児は対象外。予算が上限に達し次第終了する。

ホッピングの公式LINE(Instagram IDは@hoppingng)を登録して、LINEから申込み、預ける前日まで申請する必要がある。問い合わせは電話(073-425-8789)。

70代女性が感染

県は1日、県内で新たに田辺保健所管内に住む70代女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。県内の感染者数は、再陽性1人を含む1165人になった。

県によると、女性は9日と12日に、同保健所管内であった合唱の催しに参加して、催し中に感染した。

子育て支援のNPOが未就学児の託児費用をサポート

ホッピングが上限5000円で申請を受け付け



「子育て支援のNPOが未就学児の託児費用をサポート」という見出しが目立つ。記事内容は、和歌山市が1日から、託児費用をサポートする取り組みについて紹介している。記事には、NPO法人「ホッピング」の取り組みや、申請の受付状況などが詳しく記載されている。

2021年4月3日 わかやま新報掲載

託児のハードル下げて

ホッピングが費用サポート



和歌山市で子育て中の保護者らから「NPOでは、新型コロナの影響で収入が減り、預け先を探している」という声が寄せられている。NPO法人「ホッピング」は、この問題を解決するために、未就学児の託児費用をサポートする取り組みを始めた。記事には、申請の受付状況や、保護者からの声などが詳しく記載されている。

2021年4月16日 「わかつく」掲載

わかつく

和歌山を創る新聞

コロナ禍で和歌山の子育て環境に変化あり?!

この号は、コロナ禍で和歌山の子育て環境がどのように変化したのか、そして、どのような支援が必要かについて、県民の声を聞き取り、まとめた号です。

2022年1月7日
アンケート集計結果を和歌山市子育て支援課に提出しています。

託児費用サポート基金を利用されたイラストレーターの方より提供
基金についてわかりやすくマンガにしてみました

